

平成29年度 事業計画

1. 基本方針

我が国においては、少子高齢化が進展し、総人口は平成28年8月1日現在、1億2,698万人となり長期の人口減少過程に入っています。以後も減少を続け、平成60年には1億人を割って9,913万人となり、72(2060)年には8,674万人になると推計されています。

一方、65歳以上の高齢者人口は、平成28年に3,449万人となり、「団塊の世代」が75歳以上となる37年には3,657万人に達し、その後も高齢者人口は増加を続け、54(2042)年に3,878万人でピークを迎え、その後は減少に転じると推計されています。

こうした中で、平成28年6月2日に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」の高齢者の就労促進において、「日本には、『アクティブシニア』とも言われるように、元気で就労意欲にあふれ、豊かな経験と知恵を持っている高齢者が多数おられる。他方、高齢者の7割近くが、65歳を超えても働きたいと願っているのに対して、実際に働いている人は2割にとどまっている。生涯現役社会を実現するため、働きたいと願う高齢者の希望を叶えるための就職支援を充実する必要がある。人口が減少する中で我が国の成長力を確保していくためにも、高齢者の就業率を高めていくことが重要である。」とされており、特に ①保育等の就業機会の提供に、積極的に取り組むシルバー人材センターに重点的に財政支援を行い、保育分野での高齢者の就業を推進すること、 ②介護周辺業務や軽易な介護業務に関して、シルバー人材センターを通じた高齢人材を活用することが掲げられています。

今まさに、シルバー人材センター事業(以下「シルバー事業」という。)の重要性とシルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は一層大きなものになっています。

こうした地域の期待に応えるために、佐賀県シルバー人材センター連合会では、平成29年度も地域のセンターと一致協力し、様々な課題解消に向けた新たな事業を展開することにより、高齢者の多様な働き方としてのシルバー派遣事業や職業紹介事業も有効に活用して新たな就業機会の確保に努めます。もちろんセンター会員の就業の基本は、請負就業であることから、シルバー派遣事業にだけ頼ることなく、今後の事業拡大策として福祉・家事援助サービス事業や介護予防・日常生活支援事業などにも積極的な支援を行うため、サポート事業や高齢者活躍人材育成事業を活用した技能講習や接遇講習などを実施し、新規会員の発掘等にも積極的に取り組むものとします。

2. 重点項目

- (1) 会員拡大と就業機会創出・拡大事業
- (2) 多様な働き方の推進
 - ① シルバー派遣事業の積極的推進
 - ② 職業紹介事業の活用
- (3) 高齢者活躍人材育成事業の実施
- (4) 安全・適正就業対策事業
- (5) 普及啓発事業
- (6) 健全な団体運営に関する活動
- (7) 諸会議の開催

3. 事業実施計画

基本方針に則り、以下の事業を実施し、新しい時代を展望したシルバー事業の健全な発展と拡充を図ります。

(1) 会員拡大と就業機会創出・拡大事業

県内の各地域では、介護をはじめとする少子高齢化への対応、子育て支援や地域経済の活性化、環境問題など多くの課題を抱えており、こうしたニーズに対応していくことがシルバー事業にも求められています。当連合会では、各センターをはじめ市や町、商工団体等と連携し、会員拡大と就業機会創出・拡大事業に取り組めます。

会員拡大については、全シ協で策定した「シルバー人材センター100万人計画」の平成29年度目標値に準じて当連合会が策定した中期計画では、平成29年度の県内目標会員数を7,300人と掲げ、各センターに目標会員数を割り振っていますので、今後、実態調査等を行いながら目標達成に向けた取り組み強化に努めます。

【平成29年度の事業成果目標】

- ・ 県内目標会員数 7,300人
- ・ 県内目標契約金額 1,975,095千円

(*平成28年3月31日現在の県内センター会員数は、3,957人)

次に、高年齢者の新たな就業機会の創出・拡大については、様々な課題解消に繋がる新たな就業機会創出の事業企画やシルバー事業として継続可能な事業の立ち上げを支援することにより、高年齢者の新たな就業機会の創出・拡大を図ります。

- ① 関係機関・経済団体・地方公共団体等との連携強化
- ② ホワイトカラー職種に係る就業機会の開拓促進
- ③ 就業マッチングのための支援
- ④ 会員による会員情報及び受注情報の収集

(2) 多様な働き方の推進

高齢化や労働力人口の減少が進行する中、多くの業種において人手不足が深刻化しており、高齢者が当該分野の担い手として活躍することが期待されています。一方、会員の働き方も多様化してきていますので、これに対応するため、シルバー派遣事

業を積極的に推進することにし、連合会でも就業機会確保・雇用サポート事業に国及び県の支援を受けて新たに取り組みを開始します。併せて、職業紹介事業も有効活用して就業機会の拡大を図ります。

①シルバー派遣事業

高齢化や労働力人口の減少が進行する中、多くの業種における人手不足分野や介護及び育児等の現役世代を支える分野において、シルバー派遣事業を着実に拡大し、高齢者がこの分野の担い手として活躍することが期待されています。

このため、連合会では、県のサポート事業補助金を活用し、全シ協が各連合(会)の当面の取扱契約金額の目標額としている2億円以上を目指して、派遣就業を希望する高齢者の入会を促進するなど、県内11か所(佐賀市、唐津市、鳥栖市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、有田町、嬉野市、玄海町、白石町)の届出センターと連携し、シルバー派遣事業の着実な取り組みを推進します。

【平成29年度の事業成果目標】

- ・派遣就業会員数 250人、派遣契約件数 130件、派遣契約金額 100,004千円

②職業紹介事業

臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な業務にかかる求人を受け付け、こうした仕事を希望する高年齢者を求人事業先に紹介する有料職業紹介事業にも取り組んでいきます。

【平成29年度の事業成果目標】

- ・就職件数 2件 ・就職延件数 184人日 ・収入額 119千円 ・手数料 32千円

③成長分野における請負就業

近年、シルバー会員の働き方は多様なニーズに応じて、従来の請負のみで就業するだけでなく派遣や職業紹介での就業が増えていますが、会員の就業の基本は請負であることに変わりはなく、福祉・家事援助サービス事業や介護予防・日常生活支援総合事業、空き家管理対策事業などにも着目して事業拡充策を支援していきます。

(3) 高齢者活躍人材育成事業の実施

当該事業は、国からの委託事業を連合会が受託して実施するもので、シルバー派遣事業による就業機会の拡大を図るため、派遣業務に就業できる会員や一般高齢者の人材育成を目的とした技能講習を県内各地で効果的に実施します。

具体的には、講習実施のためのコーディネーターを配置し、店舗スタッフ補助養成、介護補助養成、介護食士補助養成講習など人手不足が見込まれる分野の講習を年間17回予定しています。なお、受講者は受講料、テキスト代、教材費等は無料で参加できます。

【平成29年度の事業成果目標】

- ・介護補助養成講習をはじめ、年間17講習を実施(*別紙年間計画のとおり)

(4) 安全・適正就業対策事業

「安全・安心なシルバー事業」の展開を図ることは、シルバー事業を実施する観点から最も基本的なことであり、組織を挙げて安全対策をより一層推進しなければなりません。特に高齢者の就業確保にあたっては「安全は全てに優先する」を理念とし、健全な事業運営を推進するため、安全・適正就業対策委員会を設置し、高齢者に相応しい仕事の確保・提供及び関係法令に則した適正な就業について指導・相談・助言を行うとともに、事故防止啓発のため安全委員による作業現場の安全パトロールや現地調査を行います。また、安全・適正就業についての意識向上と理解浸透を図るため、全シ協が毎年7月を「安全・適正就業強化月間」と設定するのに合わせ、県連合会でも県内センターの役職員及び会員を対象とした安全就業促進大会を実施します。

【平成 29 年度事業成果目標】

- ①各センターに対する指導・相談・助言
 - ・指導員：連合会事務局長のほか、事務局職員が各センターからの問い合わせ等に対し随時対応する。
- ②安全パトロール及び現地調査
 - ・安全適正就業対策委員が安全パトロールのため、会員の就業先に出向き、現場の状況、服装等の点検、評価、指導を行う。年1回実施。
- ③安全就業スローガンの募集
 - ・年1回実施
 - ・各センター会員から募集し、入賞作品は安全就業促進大会で表彰する。
- ④安全就業促進大会
 - ・年1回、7月に開催（参加予定人数 200名程度）
 - ・安全就業スローガン表彰、安全に関する講演、センターによる事例発表
 - ・安全就業に対する大会決議
- ⑤安全就業講習会
 - ・年1回、11月に開催予定（参加予定人数 100名程度）

(5) 普及啓発事業

シルバー事業の意義を県民各層に広く周知するとともに、高齢者の加入を促進するため、連合会では地域シルバー人材センターと連携し、次の事項を重点に効果的な普及・啓発活動を推進します。

- ①普及啓発促進月間中（10月）における普及啓発活動の実施
- ②行政機関の広報誌やチラシ等を活用した広報活動
- ③関係機関等が主催する研修会、会議等での普及啓発活動
- ④ホームページを活用したPR活動の推進

(6) 健全な団体運営に関する活動

当連合会及び各センターの健全な運営を図るため、次の事項に取り組みます。

①自主財源の確保等

シルバー事業の推進はもとより、シルバー派遣事業の積極的な推進による就業

機会の拡大と会員増強を図ることにより、自主財源の確保に努めます。また、財務状況の分析を行い、業務実施方法等の見直しや経費節減に関する課題を洗い出し、改善策について検討を進めます。

その他、全シ協総会での決議を基にシルバー事業の支援策について、佐賀県知事、佐賀県議会議長等に対する要望活動も8月に実施する予定です。

②指導相談事業

センター機能の強化に向けた自主・自立的な取組みと効率的な業務の推進を基本に、センターのより適正・効果的な事業運営が確保されるよう顧問税理士と連携した会計指導を実施するとともに、シルバー事業に関する個別指導を適宜実施します。

- ・会計指導の実施
- ・シルバー人材センター事業の指導の実施

③関係団体等との連携、及び交流研修活動

少子高齢化社会に向けた国の諸施策が推進されていることから、関係機関との連携をより一層密にし、地域連携を強化します。また、全国シルバー人材センター事業協会及び九州ブロックシルバー人材センター連絡協議会が主催する研修会等にも積極的に参加して、その会議内容等を相互共有し、シルバー人材センター事業の充実・発展を務めます。

【平成29年度の事業目標】

- ・全シ協主催の研修会等 年8回開催
(総会6月、局長会議5月、9月、1月、担当者会議7月、11月、12月、2月)
- ・九シ協主催の研修会等 年2回開催
(総会及び役職員研修会7月、職員研修会9月)

(7) 諸会議の開催

当連合会の運営及びシルバー事業の運営に関する諸会議を次のとおり開催します。

① 定款に定める会議の開催

- | | |
|---------|-------------------|
| イ. 定時総会 | 年1回(6月) |
| ロ. 理事会 | 年4回(5月、9月、12月、3月) |
| ハ. 監事監査 | 年1回(5月) |

② その他の会議

- | | |
|-------------------|------------|
| イ. 安全・適正就業対策推進委員会 | 年2回(6月、2月) |
| ロ. シルバー派遣事業運営委員会 | 年2回(5月、1月) |
| ハ. 理事長会議 | 年1回(12月) |
| ニ. 事務局長会議 | 年2回(5月、1月) |
| ホ. その他、臨時的会議 | 随時 |

* (3) 高齢者活躍人材育成事業による平成29年度技能講習計画一覧

(29.5.1現在)

No.	講習名	開催地	開催月	開催日(予定)
1	クリーンスタッフ養成講習	佐賀市	6	13(火).14(水).15(木)
2	接客・店舗スタッフ補助養成講習	佐賀市	6	28(水).29(木).30(金)
3	クリーンスタッフ養成講習	鹿島市	7	4(火).5(水).6(木)
4	フォークリフト運転技能講習	佐賀市	7	10(月).11(火).12(水).13(木)
5	福祉有償運送運転者講習	佐賀市	7	25(火).26(水)
6	クリーンスタッフ養成講習	鳥栖市	8	1(火).2(水).3(木)
7	介護食士補助養成講習	佐賀市	8	7(月).8(火).9(水)
8	介護補助養成講習	武雄市	8	22(火).23(水).24(木)
9	福祉有償運送運転者講習	唐津市	9	12(火).13(水)
10	介護補助養成講習	伊万里市	9	25(月).26(火).27(水)
11	マンション管理員養成講習	鳥栖市	10	11(水).12(木).13(金)
12	接客・店舗スタッフ補助養成講習	唐津市	10	18(水).19(木).20(金)
13	介護補助養成講習	嬉野市	10・11	10/31(火).11/1(水).2(木)
14	フォークリフト運転技能講習	佐賀市	11	6(月).7(火).8(水).9(木)
15	福祉有償運送運転者講習	伊万里市	11	14(火).15(水)
16	マンション管理員養成講習	佐賀市	12	6(水).7(木).8(金)
17	介護補助養成講習	唐津市	12	12(火).13(水).14(木)